



発行者  
大曲商工会議所青年部  
大仙市大曲通町1-13  
TEL62-1262  
編集・発行  
広報委員会

「しみじみと」

金谷 朋浩



「何もせずに卒業はさせませんよ。」  
その目は笑っていないかった。怖かった。ただ、ただ怖かった。  
昨年、監事をやれという丸谷前会長からの命令を受けた。  
「監事を引き受けて下さるそうで、ありがとうございます。」

キラキラした目で微笑みかける伊藤会長は眩しかった。  
まだ返事はしていない。  
硬と軟。柔と剛。見事な攻撃だ。

いつだったか、鹿角の地で納豆汁を智美さんと仲良く販売していた時、後ろにスタンハンセンのような辻さんと、ブローザープロディのような丸谷さんが仁王立ちしている姿を思い出した。  
命には代えられない。

僕は、YEGに関しては何もしていない。そんな自分が監事という大役をできるのだろうか。  
恥ずかしい。

まだ大曲商工会の時代、僕は青年部を一度辞めている。商工会議所になり、青年部会長が忠信さんになるという事で復帰した経緯がある。  
新参者として生意気なことは言わない。今、中心で頑張っている方たちに頼まれたことをお手伝いして

いこう。そう心に決めた。  
そうして、卒業の年を静かに迎えたはずだった。

「何もしてないくせに」そんな声が聞こえてきそうなか、僕は理事会の在り方、執行の仕方を監事した。逃げちゃだめだ、逃げちゃだめだ、逃げちゃだめだ。



「全国大会、卒業式楽しみですね」  
涉さんがキラキラした頭で話し掛けてくる。  
その日は東京でセミナーなのだが、どうしよう。

飛行機が苦手な僕は、新幹線で上野から北海道へ向かうことにした。  
アナウンスが流れる。  
「貨物列車事故により、札幌へは全て運休です」

急遽、札幌のホテルをキャンセル。小嶋君、迷惑かけました。函館にホテル予約。  
ここ函館は、小原恵君とYEGの所用で行った場所だった。

「もしかして、メグさん。北海道だぞ、思い出せという事かな。」  
あの日、二人で入った居酒屋はもうなかった。

卒業式の日。臨時列車とバスを乗り継いで、終了20分前に到着。  
涙を流しながら、涉さんが会場入り口に來てくれる。

会場に入ると、謙伍さんがまるで何かに取りつかれたように「金谷朋浩」と書いた旗を振ってくれていた。あんな目立つ場所で・・・。  
ふと横を見ると、健太郎さんが「小原恵」と書いてある旗を。

メグさん、貴方は幸せ者です。  
伊藤会長が僕に気づき、檀上に上がって旗を大きく振ってくれる。  
僕は今日、刈穂を飲みます。飲んでみせます。

そして、本当に北海道の居酒屋に刈穂が置いてあった。

すごいぞ、秋田清酒。  
あれ？久米川さんは？

「金谷さんが間に合わないと思ひ、もう寝ています」  
文句は言えない。彼はJC時代、専務理事として僕を支えてくれたのだから。

何故だか、横に涉さんがいるから寂しくない。

ありがとうございます。最後の年に、いい思い出ができました。YEG、みなさんのご活躍を心からお祈り申し上げます。しみじみと。

「50になりました」

青木 真人



皆様には大変お世話になりました。随落な自分を何時でも歓迎して頂き、本当に感謝しております。いつの間にか卒業を迎え、月日の早

さに少なからず虚しさを感じています。

人として、人の親として生き抜くことは大変です。今頃になって気が付きました。これからも大変です。しかし、幸福かと問われると、幸福です。何故なら、幸か不幸かは自分が決めることだからです。また、様々な人との出会いも幸福の一因となっているのです。



51からの新たな人生も、皆様と共に生き抜いていこうと思っていま

す。また、花火大会ではお世話なりますが、皆様にとつてやりがいのある大会を目指して頑張りますので、何卒宜しくお願い致します。

青年部の思い出

齊藤 光夫



青年部での思い出として強く記憶に残っているものは花火大会で初めて入場規制を行った時の怖さがあります。

入場者といっても自由席の場所を確保する方がほとんどで、徹夜で並んで酒も入っているので文句、罵声、怒号が物凄い状況でした。ある先輩は車で会場に来てハイビ

ームで待ち客に照射し火に油を注ぐ行為があり、やめて下さいと言ったものの「誰文句言っているか確認しねばだめだ」でそれ以上何も言えませんでした。

それにも拘わらず当時の会長や担当者がユーモアを交えたスピーチでの丁寧な説明で場も和やかにした場面はDJポリスのようでした。

以前の会場は自由席が多く、場所取りが激しい、来場者のマナーは悪い、券を手に見せるだけで出店に入退場をする際は、何度もその券を確認しなければならず現在の会場とは比べ物になりませんでした。

今の会場は来場者も慣れてきたこともありますがマナーも向上しスマートな会場になり会員の反省会など運営して来た方々の努力の賜物と思われれます。

もう一つの思い出としては、セミナー研修中でも「日研修を受けるにあたり6冊位の指定された本を2週間位で読んでくることの課題を課されたときは本を読むことに時間を取られ課題をこなすことに苦労しました。



レベルの高い研修で今でも役にたっている有難いセミナー研修でした。



私は湯沢市出身で当初、大曲に事務所を開設し大曲商工会議所に入会させて頂きました。

事業所がなくなった際、退会の事を会議所に相談しに行ったら、例外として会員として認めますと言われたときは感謝の気持ちでいっぱいになりました。

地元の方にも良くして頂き、これからも大曲に貢献できることがあれば協力して行きたいと思っております。

少子高齢化に伴ってか卒業の年齢も引き上げられました。何となくでも若い方の考えにより新しい発想、やり方によって発展し続けて頂

きたいと願っております。今まで大変お世話になりました。有難うございました。感謝致します。

### 「青年部を振り返って」

遠田 博士



同い年でポン友の青木が「あれ居ねぐなって とじえねがら 青年部さ入って 一緒に卒業してけれ・・・ あど残り半年しか無えども・・・」って涙ながらに言うので、『まあ それも面白れがな・・・』なんて思ってた入会したのが良かったのか悪かったのか・・・

か・・・

ということで、僕は青木と一緒に卒業式に出席するために青年部に入会したのです。それ以外、何もありません。振り返るほどの活動もしてません。佐藤専務に言われるままに、よく判らない会について行っただけです。で、思ったのが『青年部って、結構忙しいんだな』『青年会議所の活動と似てるな』『それで良いのかな』ってことでした。



若者と言われていたうちに何にでも楽しく活動することは、その後の人生の糧となることでしょう。

でも、それだけだとチョッと物足りない感じがします。楽しい活動の中に、仕事のつながりだとか、お金の知識だとか、そういった自分の商売の為になることがしっかりと包括されていてこそ、大曲商工会議所青年部の活動といえるのではないのでしょうか。  
そんなこと、言われなくてもチヤンとしていられると思えます。・・・老婆心ながら・・・  
青年部のみなさまの益々の活躍を期待しております。頑張ってください！



3月22日(水) 18時30分

大曲YEG 卒業式

4月3日・17日(月) 22時

大曲コミュニティFM「FMはなび」  
青年部 Presents

「YEGはLIVE(生)

が好き」放送

(再放送…土曜日20時)

※以降、隔週毎月曜日放送)

4月4日(火) 18時30分)

平成29年度

第一回三役部長・理事会

4月14日(金)

大曲YEG 通常総会

4月25日(火) 129日(土)

国際花火シンポジウム

・大曲の花火春の章)

5月27日(土)

大曲YEG

20周年記念事業

● 4月からは、隔週毎月曜夜10時から、放送時間帯も新たにお届け致します！

大曲「ミニティFM」「FMはなび」

(87.3MHz)、青年部 Presents「YEGは

LIVE(生)が好き」、ぜひお聞きま

ださい！

再放送：月曜日(22:00・隔週放送)、

土曜日(20:00)・・・合計3回にお

送りいたしております！皆さん是非お聴

きください！

~~~~~

編集後記

卒業シーズンだったただ中！今回掲載させていただいた4名と、昨年人生を全うした、小原恵さんの計5名の先輩方が卒業を迎えます。大変お世話になりました！様々な事業を経て培ってきた友情は永遠です！ありがとうございます！これからもよろしくお願ひします！

この号で今年度4号目にて今年度最終号。みなさん、一年ありがとうございます！次年度もよろしくお願ひ致します。(広報委員長)